

北光

第 134 号

平成18年4月28日

秋田大学工学資源学部

平成十七年度 北光会

新正会員歓迎会
大学院修了祝賀会

日時 平成十八年三月二十二日(水)午後十二時より

会場 四階放光の間



北光会 (<http://www.hokkokai.com>)

秋田鉱山専門学校
秋田大学鉱山学部 同窓会
秋田大学工学資源学部

秋田大学工学資源学部は、明治44年（1911年）に秋田鉱山専門学校として新入生を迎えて以来、平成23年（2011年）に創立100周年を迎えることになります。

目 次

総会のご案内	色紙
巻頭言 学部長就任挨拶	吉 村 昇 1
北光会事務局長就任挨拶	菅 井 幹 夫 2
会 長 便 り	菊 地 芳 朗 3
退職教員挨拶	5
フライベルク大学(ドイツ)と秋田大学工学資源学部との間で協定書締結	8
平成17年度支部長会・理事会報告	9
秋田大学工学資源学部創立100周年記念事業の取組について(中間報告)	11
国際交流基金の最近の使用状況について	12
平成17年度北光会新正会員歓迎会・大学院修了祝賀会	12
平成17年度卒業生・修了生進路状況	14
平成18年度工学資源学部入学者選抜状況	18
須田 了北光会顧問のご逝去を悼む	19
秋田鉱専の歴史（寄稿）	21
学生の声「北光会賞」受賞者	24
北から南から -支部・クラス会だより-	28
母校だより	36
会員だより	38
事務局から	38
計 報	39
編 集 後 記	40

表紙写真：平成17年度北光会新正会員歓迎会・大学院修了祝賀会
－秋田キャッスルホテル－

平成18年度北光会総会のご案内

会 員 各 位

平成18年 4 月吉日

北光会会長 菊 地 芳 朗

本年度の北光会通常総会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上ご出席下さいますようご案内申し上げます。

記

日 時 平成18年 6 月10日(土)

会 場 キャンパス・イノベーションセンター (地図参照)
東京都港区芝浦 3 - 3 - 6 TEL・FAX 03-5441-4530

通常総会 時 間 14:00~15:45

会 場 国際会議場

- 議 題
- (1) 役員選出の件
 - (2) 平成17年度会務および事業報告の件
 - (3) 基金の使用について
 - (4) 平成17年度決算報告の件
 - (5) 平成18年度予算案審議の件
 - (6) 定款の改正について
 - (7) 学部創立100周年記念事業の件
 - (8) 平成19年版会員名簿作成の件
 - (9) その他
 - (10) 感謝状・顕彰状授与式

講演会 時 間 15:45~16:30

会 場 国際会議場

講演者 秋田大学名誉教授・北光会副会長 山 田 悦 郎 氏 (機械S33)

演 題 「エネルギーから見た日本のこれから」

懇 親 会 時 間 16:30~18:00

会 場 「ニュートーキョー」東京都港区芝5-34-7 田町センタービル3F

会 費 8,000円 (当日受付で申し受けます) TEL 03-5232-5896

総会・講演会・懇親会に出席される方は、5月31日(必着)までに「北光」第134号に同封のハガキ、FAX、または電話、メールでお申し込み下さい。なお、宿泊については、各自お手配下さい。

お問い合わせは下記まで。

◎北光会東京支部事務局

高 橋 壽 夫 (MS35)

TEL・FAX 03-5441-4530

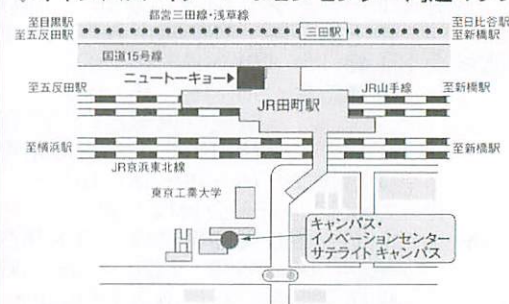
E-mail: hokkokai-tokyo@hokkokai.jp

◎北光会事務局 (本部)

TEL・FAX 018-835-9822 TEL 018-889-2317

E-mail: info@hokkokai.com

◇キャンパス・イノベーションセンター周辺マップ



平成18年度北光会北海道支部総会のご案内

日 時：平成18年5月13日（土）17：00～

場 所：ホテルポルスター札幌（札幌市中央区北4条西6丁目）TEL 011-241-9111

会 費：7,000円（当日）＊会員の皆様の参加をお待ちしています。

連絡先：北海道支部事務局 西山祥雄（ES34）

TEL・FAX 011-386-6185・Email:nisi-hokk@rio.odn.ne.jp

平成18年度北光会秋田支部総会のご案内

今年度も恒例の標記総会を下記のとおり開催いたしますが、この度は北光会副会長であります山田名誉教授の講演も予定しておりますので、お互いお誘い合わせの上一人でも多く出席されますようご案内いたします。

日 時：平成18年5月20日（土）13：30より

会 場：秋田キャスルホテル 018-834-1141（代）

日 程：1. 総 会 13：30～14：20

(1) 平成17年度事業報告

(2) 平成17年度事業・決算報告

(3) 平成18年度事業・予算（案）

2. 記念講演 14：30～15：20

演題：「エネルギーと人類の未来」

講師：秋田大学名誉教授 山田悦郎 先生（MS 33卒）

3. 懇親会 15：30～17：30 会 費 5,000円（当日受付にて）

※準備の都合上出席のお申し込みは5月15日（月）までに北光会事務局にお願い致します。

TEL&FAX 018-835-9822 E-mail: info@hokkokai.com

平成18年度北光会東海北陸支部総会のご案内

日 時：平成18年5月27日（土）16時より

場 所：チサングランドホテル（大垣市宮町1-13）TEL 0584-81-0111

JR・近鉄 大垣駅南口より右方向徒歩3分

会 費：8,000円（平成14年以降卒業生＆女性は6,000円）

連絡先：北光会東海北陸支部事務局

岡崎市能見通り1-50シャトレ康生北602 安西 廣恭 TEL/FAX 0564-26-0871

申し込み締切り 5月19日（金）まで

平成18年度北光会九州支部総会のご案内

日 時：平成18年6月24日（土）12時～13時 理事会 13時～16時 支部総会、懇親会

場 所：福岡ガーデンパレス 福岡市中央区天神4-8-15 TEL 092-713-1112

会 費：8,000円

連絡先：北光会九州支部事務局 瀬戸信吾

TEL 092-475-8820（福岡水道設計内）・090-37378-1379

平成18年度北光会関西支部総会のご案内

日 時：平成18年7月8日（土）14：00～18：30

場 所：トーコーシティホテル梅田 大阪市北区南森町1-3-19

地下鉄谷町・堺筋線南森町駅下車2号出口真上徒歩1分、電話06-6363-1201

通常総会：①総 会（14：00～15：00）

②講演会（15：00～16：00）

演題（仮題）「工学資源学部のこれからと北光会への期待」

秋田大学工学資源学部長 吉村 昇 氏（ES42）

③懇親会（16：15～18：15）

会 費：7,000円（新入会員は不要）

連 絡 先：北光会関西支部事務局 鈴木邦彦：大阪市大正区鶴町1-4-3ヤマキウ（株）内

電話：06-6552-7420・Fax：06-6552-7421

関西支部長 石川浩次：Email:k_ishikawa@msj.biglobe.ne.jp

※尚、総会開催前に理事会を開催いたしますので、理事の方は13：00までに集合して下さい。

“北光会事務局長就任にあたって”

菅 井 幹 夫 (FS40)



この度、丸山孝彦先生の後を継いで事務局長を仰せつかりました。

これまで平成15年度と16年度の2年間事務局の庶務を担当致しました。

1年目は森泰前会長、菅原拓男事務局長の時でした。

森前会長が任期の途中でご病気になられたため、2年目は後を引き継がれた菊地芳朗現会長と丸山事務局長に変わりました。この2年間を含めて、最近の北光会の運営や活動に著しい変化があったと感じています。

それは大学の独立法人化とも関係しています。法人化によって大学の運営形態が変わり、同窓会の存在が益々重要となりました。菊地会長が秋田大学の経営協議会委員として参画され、現在も続けておられます。また、東京に秋田大学東京サテライトが開設されました。そこでは工学資源学部東京セミナーが北光会東京支部の協力のもとでほぼ毎月実施されています。平成17年8月には関西セミナーも開催されています。そのほか10月に開催される大学のオープンキャンパスで展示や実演で努力した各学科の研究室に北光会より「頑張ったで賞」を授与しています。そして大学のJABEE（日本技術者教育認定機構）認定に際しては、外部評価に卒業生が多大な協力を行っています。

北光会の運営方法も新しくなりました。通常の事業に関しては、事務局長、庶務担当、会計担当、インターネット担当の各理事、および編集委員長による定例事務局会議を月に1回開催しております。菊地会長が経営協議会のために大学に来られる機会を利用して、会長と秋田在住の副会長2名を含めた拡大事務局会議を毎月開催し、事業計画や北光会の運営について意思の疎通をはかっています。さらに支部長会議により重要議題や支部関連の内容について審議を行い、各支部の意見を北光会の運営に直接反映させられるようになりました。

また、平成17年4月に制定された個人情報保護法により、北光会の活動が以前に比べて制限され、支部活動やクラス会などへの情報提供などに不便や余分な手数をお掛けしております。同窓会にとって、会員相互の連絡や情報交換はとても重要なことであり、それをサポートすることが同窓会の役割であります。一方で、情報化社会となった今日ゆえに、会員の個人情報をきちんと守ることも同窓会の使命であります。両方を調整して会員の皆様にご迷惑が掛からないようにしながら、活動しなければなりません。そのため、あらかじめ皆様に同意を求めることがありますので、その節はご協力をお願いしたいと存じます。

これまで準備委員会で進められておりました創立100周年の記念事業が、いよいよ具体的にスタート致します。大学は勿論ですが、北光会でもこれに全面的に協力し、成功させることが最大の課題です。この重要な時期に、事務局長という大役を頂きましたので、私なりに精一杯努力するつもりです。それには会員の皆様の絶大なご協力とご指導を頂かなければ出来ません。幸い、森前会長も健康を回復されて昨年の総会に出席されました。どうぞよろしく、お願い申し上げます。

私は昭和36年に鉾山学部燃料化学科に入学しました。丁度その年の10月に創立50周年記念が行われ、全国から集まった多くの卒業生の数と、大部分の卒業生が給料の1ヶ月分を寄付し募金に応じたと聞き、鉾山学部の伝統と北光会の大きな存在を知り、驚いたことを覚えております。そのお蔭で世界に誇れる鉾山博物館が工学資源学部の附属施設として現在も存在しています。今度の100周年の記念事業の一つに、鉾山博物館の拡充・整備が含まれております。これは50周年のときの意志を引き継いで、北光会の伝統を未来に向けて更に発展させるものと思います。

北光会で総力を挙げて、この100周年記念事業に取組みたいと思っております。よろしくご支援の程、お願い申し上げます。

“新正会員を迎えて”

－ 資源と技術者 －

菊 地 芳 朗 (GS34)

今年の冬は例年になく大雪でした。私も経営協議会などで、秋から毎月のように秋田に行きましたが雪の多いのには驚きました。雪害に遭われた皆様にはお見舞い申し上げます。

さて、創立100周年記念事業ですが、記念会設立準備委員会が出来まして、現在検討中です。本号に川上前学部長が準備委員会のことを述べておりますので、ここでは詳しく申しませんが、6月の総会の議を得て7月から募金活動に入ります。会員皆様方のご協力をお願いいたします。

3月13日の産経新聞を見て考えさせられました。それは同紙の「列島深化論」の欄に『朱鷺の図柄をあしらったチラシに「日本の絶滅危惧種、フナノリを守ろう」と訴える』と云う全日本海員組合に関する記事のことです。これはタンカーや貨物船など外航船の日本人船員が昭和49年の約5万7千人をピークに、平成16年には約3千人に激減し、人件費の安い外国人に変わった。この様な状態で、国際情勢の変化に見舞われたら、どうするのか。船員を一人前にするに10年かかる、と云うのです。

これを見て、私はわが国の鉱山技術者のことを考えました。日本の鉱山技術者はどうなっておりますか、と良く聞かれることがあります。私達の学部は秋田鉱山専門学校から始まって、近く創立100周年を迎えます。その間多くの技術者、特に鉱山技術者を輩出してわが国の鉱工業を支えてきました。これが学部の誇りでもありました。しかし、現状はどうでしょうか。わが国の鉱山技術者も朱鷺と同じく絶滅危惧種になって行くのでしょうか。これは学部だけの問題ではなく、わが国の地下資源産業の問題でもあります。

こんな事を考えたためか、3月22日の卒業式後にありました新正会員歓迎会の挨拶で次のような事を述べました。今回は、その挨拶の一部を掲載しまして「会長便り」といたします。

最近新聞紙上を賑わしているものに姉齒元建築士の偽装問題と堀江貴文容疑者によるライブドア問題があります。姉齒問題は技術者としての倫理の問題で、これをどうすれば良いかは、皆様が良くご存じのことと思います。一方のライブドア問題の方ですが、この問題の底には拝金主義と云いますか、金銭至上主義と云いますか金儲けのためには何をしても良いという風潮があるように見受けられます。

この問題が起きたとき、私は日本の資源というものを考えました。資源とは何か、私達はすぐ地下資源を考えるのですが、食料資源や森林資源等多くの資源があります。日本はこれら資源の多くを外国から輸入しております。

資源のほとんどは、自然界に直ぐ使えるような状態であるものではありません。私達の手に入るまでには、どこかで額に汗して頑張っている多くの人々がおられると云う事です。

日本には自分たちで開発する、と云う事よりも買ってくれば良いという風潮があるように見えます。石油等の地下資源は効率よく使用しておりますが、食糧資源はどうでしょうか。日本の食糧自給率はカロリーベースで40%と云われております。60%を輸入に頼っているのですが、捨てる食料も多く、家庭では8～9%、結婚披露宴では25%、宴会では16%と云われております。コンビニの弁当の年間売上高は1兆円、年間に破棄する弁当は2,000億円と云われております。世界では食糧難で困っている人々が沢山

おられます。「もったいない」ことです。このような事をして、資源は買ってくれば良いと云う考え方は、どうも根底にライブドアと同じような拝金主義があるように見えて仕様がありません。

皆さんが学校で勉強したことは、額に汗して頑張る技術であったと思います。社会に出てから技術者として活躍しやすいように JABEE（日本技術者教育認定機構）認定の取得などもそのためと思うのです。これから社会に出て行く皆様には、この事を良く考えていただきたいと思うのです。

私達の学部は秋田鉱山専門学校、秋田大学鉱山学部そして工学資源学部と数えて、2011年に創立100周年を迎えます。その間、多くの技術者を世に送り出し、わが国の産業界を支えてきました。学部の誇りでもあります。

皆さんには、この100年の伝統ある学部の誇りとして、自信を持って前に進んでいただきたいと思います。

次に北光会の事です、北光会は学部の支援を行っております。大学の法人化に伴い学部の将来がどうなるのか、色々課題もあります。そのための支援です。更に大きな事は、先に申しました創立100周年の事です。私が卒業したのは昭和34年でした。卒業して直ぐ創立50周年がありました。その記念に鉱業博物館を建設いたしました。日本では唯一の鉱業博物館です。卒業してからの学校は建物が変わり、先生方も変わり、そして学校の名前まで変わりました。いま心のより所となっているのは鉱業博物館だけかも知れません。

これから創立100周年の記念事業を行います。北光会は、これを全面的に協力していきます。そして何十年か後に皆さんの心に残るようなものにしたいと思っております。皆様方のご協力をお願いいたします。

北光会は、北は北海道から南は九州まで九つの支部があります。皆様はこれからその支部の一員となられます。各支部では色々な行事を行

っております。そして若いフレッシュな皆様方の参加をお待ちしております。そして何時でもいろんな事に相談に乗ってくれる先輩がおります。最近の若い方達は遠慮気味ですが、各支部を回って若い方々の意見を聞いてみますと参加して良かったと云う声を聞いております。どうか各支部の活動に参加され、北光会の活性化にご協力をお願いいたします。

これからの皆様のご活躍を祈念いたしましてお祝いのご挨拶といたします。

本日はおめでとう御座いました。

北光会は皆様の会費で維持されております。

